

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

| | |
|-----------|-------------------|
| 2018/3/29 | |
| 所属部局・職 | 野生動物研究センター・博士課程学生 |
| 氏名 | 榊原香鈴美 |

| |
|--|
| 1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域) |
| 熊本県宇城市三角町 |
| 2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験) |
| 御蔵島研究成果報告会 |
| 3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで) |
| 平成 30 年 3 月 18 日 ~ 平成 30 年 3 月 19 日 (2 日間) |
| 4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏) |
| 京都大学熊本サンクチュアリ、森村成樹氏 |
| 5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由) |
| 写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。 |
| <p>今回の訪問では、三角西港で野生スナメリ <i>Neophocaena phocaenoides</i> の海域利用を知るために設置した水中マイクの回収をおこなった。約1ヶ月の水中モニタリングにより、来遊の日周性、八代海・有明海の生息地利用状況を明らかにするとともに、ドローン観察とあわせ行動と音のすりあわせに挑戦する。</p> <p><日程></p> <p>3月18日(日) 移動(京都~福岡~熊本~赤瀬~熊本サンクチュアリ)、15時からマイク回収、夕方スナメリ観察</p> <p>3月19日(月) データ抽出、移動(熊本サンクチュアリ~赤瀬~熊本福岡~京都)</p> <p>水中マイク</p> <p>高周波の録音が可能で MMT 社の A-tag を用いて、三角西港へのスナメリの来遊の特徴を明らかにすることを目的に1ヶ月の録音をおこなった。三角西港内の旧カキ養殖イカダ棚に、北西向き、南西向きに2つのマイクを、それぞれスナメリの遊泳の相対方向と深度帯を記録できるように設置したものを回収した。</p> <p>尾崎昭彦さんが所有する昭福丸でイカダへ渡り、2つのマイクを設置するとともに、GPSでの位置確認、レーザー距離計で対岸距離、ほかスナメリをよく観察する場所までの距離を計測した。さらに、水深、水温、塩分濃度を計測した。</p> <p>北西マイク</p> <p>設置方向：水平</p> <p>録音期間：1月29日10:00~3月2日10:00</p> <p>録音数：9969777</p> <p>水深：9.6 m</p> <p>水温：12.8 °C</p> <p>塩分濃度：3.11 %</p> <p>南西マイク</p> <p>設置方向：垂直</p> <p>録音期間：1月29日10:00~3月2日18:00</p> |

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

録音数：7142839

水深：8.9 m

水温：12.9 °C

塩分濃度：3.09 %

野外スナメリ観察

水中マイク回収後、16時半頃～18時頃までドローンによる観察をおこなった。大瀬戸から外洋に向け多くのスナメリを発見し、さらに観察者（沿岸）から8～10mほどの範囲にも4～5頭のスナメリを発見した。

今後の展開

引き続き、KSの森村さんと森さんとともにドローンでの観察状況を情報共有しながら、水中マイクの記録とドローン映像とのすりあわせ作業をおこなう。さらに音響データを用いてスナメリの来遊の日周性や潮汐との関係についても分析したい。



↑回収したマイク

6. その他（特記事項など）

滞在中、熊本サンクチュアリの那須さま、森村さまに大変お世話になりました。また、森祐介さまとご家族に、マイク回収にあたり大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。